

## 1章 都心まちづくりの目標

---

## ■ 1 都心まちづくりの目標

### 1-1 都心まちづくりの目標

都心のまちづくりは、「北方圏の拠点都市」「新しい時代に対応した生活都市」(札幌市基本構想)の2つの都市像の具体化を先導する場をつくることを目指すものです。

札幌は、20世紀における都市化の進展に対応するための計画的な都市づくりにより、時々の市民の生活や産業の需要に対応することを精力的に進めてきました。今後は、これまでに構築した都市基盤を有効に活用し、多様な価値観、属性の人びとの生活の質を高めていくことがまちづくりの中心課題となり、これを都心が先導していく必要があります。

また世界的な都市間競争の中で確固たる地位を確保するため、市民生活の質を高めることについて札幌がひととき優れたまちづくりを展開すること、すなわち、まちづくり自体によって世界都市となることを目指し、これを都心で象徴的に表現していくことが重要です。

このことにより集客交流の活性化、新たな産業育成、さらには独自の都市文化の創造が展望され、市民生活の質のさらなる向上へとつながっていくことが期待されます。

こうした視点を踏まえ、「都心まちづくり計画」では、以下のまちづくりの目標を定めています。

これからの時代の生活・文化をつくる	成熟社会に対応した都市生活の魅力为谁もが十分に味わえる都心
“世界都市さっぽろ”をつくる	国の枠組を越えネットワーク社会に対応した“世界都市さっぽろ”の魅力を発揮し続ける都心

本計画は、「都心まちづくり計画」を補完する10年間程度の戦略的な計画として、その理念を踏まえ、以下のまちづくりの目標を定めるものとします。

<b>世界に向け魅力を発信し、市民生活を豊かにする都心の創出</b> 「道都さっぽろ」の中核として、世界に札幌の魅力を発信し続け、市民生活の豊かさを享受できる場を創出
--

## 1-2 目指すべき都心の将来像

---

### (1) 社会情勢の変化への対応

これからの成熟社会に対応したまちづくりを進めていくうえでは、市民や来街者の多様な価値観に込め得る、魅力的で質の高い空間を創出していくことが重要です。

現在の都心が抱える空間的な課題として、格子状の市街地に起因する街並みの単調さ、雰囲気や景観の変化の乏しさ、街にうるおいを与えるみどりや、人々の活動を促す交流空間<sup>4</sup>の少なさといった点が挙げられます。

こうした課題を踏まえ、常に人々を惹きつける魅力を発信し続ける都心を創造するうえで、骨格構造における象徴的なまちづくりに加え、市民や来街者が積極的にまち歩きを楽しめる、変化に富んだ街並みを形成することや、多様な活動を誘発する交流空間の創出など、人を中心とした空間づくりを進めることが重要な取組となります。

### (2) 新たなまちづくりへの対応

札幌の持つ魅力を端的に表現する顔である都心は、新たなまちづくりの方向性を取り込み、先導的・象徴的に推進することが求められます。

#### 1) 市民自治の推進

「市民が主役のまちづくり」を進めるための基本的なルールとして、平成19年に「札幌市自治基本条例」が施行されました。

これからのまちづくりは、行政だけではなく、市民が主体となって、市民と行政との協働のもとに進めていくことが必要です。

都心においても、地域の価値向上のため、地域の人々が主体的にまちづくりを行う「エリアマネジメント」を推進していくことが重要になります。

#### 2) 創造都市さっぽろ

「創造都市さっぽろ」とは、「創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、絶えず新しいコト、モノ、情報を発信していく街」を目指す、札幌の新たなまちづくりの方向性を示す考え方です。

「創造都市さっぽろ」の実現に向けては、「内外の人の創造性を刺激する都市」「創造性を表現・発表できる機会に恵まれている都市」の2つの視点に力点を置いた施策を展開する必要があり、都心のまちづくりにおいても、この考え方を踏まえた取組が求められます。

---

<sup>4</sup> 交流空間：市民や来街者の多様な活動を支える、街路や広場、公園などの公共空間。

### 3) 環境首都・札幌

地球環境問題への対応は、札幌市における最も重要な課題のひとつであり、さまざまな取組を通じて市民の環境意識の高まりを培ってきました。

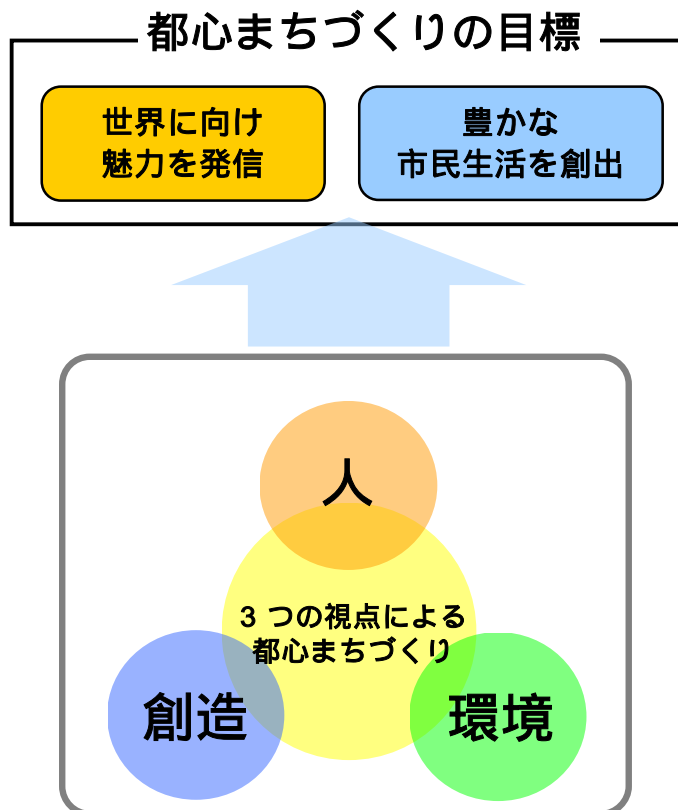
また、札幌は豊かな自然環境と明確な四季を有するという他都市に誇れる地域特性を有し、こうした固有の財産を次代へと引き継いでいく取組が求められています。

「環境首都・札幌」は、こうした地球規模の環境問題への対応や、札幌の豊かな地域特性を次代へと継承し、世界に誇れる環境都市を目指すものとして掲げられたものです。

都心のまちづくりを進めるにあたっては、高次な都市機能が集積しながらも、美しい街並みのまちとして、幾世代にも受け継がれていくような都市環境を守っていくことが重要です。

#### (3) 「人」「創造」「環境」を視点とした都心まちづくりの展開

本計画においては、都心まちづくりの目標を実現するために、新たなまちづくりの考え方を踏まえ、「人」「創造」「環境」を視点としたまちづくりを重点的に進めることとします。



#### (4) 目指すべき都心の将来像

「人」「創造」「環境」の3つの視点による都心のまちづくりを推進することにより、以下に示す都心の将来像の実現を目指します。

##### 人を中心とした 魅力あるまち

都心へのニーズの多様化に対応するためには、さまざまな人々の価値観に応え得る、魅力的で質の高い空間づくりを進めることが重要となります。

人を中心とした空間を形成するとともに、さまざまな用途や機能を組み込むことにより、多くの人々が集い、多様な活動が可能となるような場の実現を目指します。

##### 新たな文化と活力を 創造するまち

「創造性を誘発する場の形成」や「創造的な活動の担い手の育成」に向けた取組を進め、創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、絶えず新しいコト・モノ・情報を発信していく「創造都市」の実現を目指します。

##### みどり豊かな 環境にやさしいまち

「まちなかにおける豊かなみどりの創出」、「公共交通の充実」や「環境負荷の少ないエネルギーシステムの形成」を図るとともに、交流空間の拡充を進めるなど、美しい街並みの創出と環境低負荷型の都市システムの創造に向けた取組を進め、環境的に持続可能な、次世代に受け継がれる都市を目指します。

## ■ 2 目標実現のための空間形成の考え方

### 2-1 空間形成の力点

都心まちづくりの目標や目指すべき将来像の実現を図るため、それを支える「空間形成の力点」を以下のように位置づけます。

空間形成の力点 : 4 (骨格軸) - 1 (展開軸) - 3 (交流拠点) の骨格構造の実現

空間形成の力点 : 交流空間のネットワークの形成

空間形成の力点 : 界わい空間の創出

(1) 空間形成の力点 : 4 (骨格軸) - 1 (展開軸) - 3 (交流拠点) の骨格構造の実現

「都心まちづくり計画」で位置づけた4つの骨格軸と3つの交流拠点に加え、創成川以東地区を含めた一体的な都心域の形成を図るため、東四丁目線を創成川以東地区のまちづくりを支える「展開軸」として新たに位置づけます。これによって、新たな都心の骨格構造を【4 (骨格軸) - 1 (展開軸) - 3 (交流拠点)】とします。

#### 骨格軸

にぎわいの軸 (駅前通)	〔目標〕 札幌の目抜き通りとしてのにぎわい、多様性、美しさの創出 都心の楽しさを味わいながら歩くことができるストーリー性のある通りの形成
はぐくみの軸 (大通)	〔目標〕 オープンスペースでの人の活動が多様で豊かに展開できる場や 機会の中心的な提供 周辺機能と大通公園との連携による、多様で魅力的な芸術・文化 活動などを育む環境の創出
やすらぎの軸 (創成川通)	〔目標〕 水辺環境と呼应する良質で落ち着きのある活動空間の形成と新 しい都市文化を創出する場の提供 東西市街地の分断要素から連携要素への質的な転換
うけつぎの軸 (北三条通)	〔目標〕 札幌の都市形成を支えた歴史的価値を継承し、新たな魅力の創 出による都心の発展を将来に、また東方向へつなげていく

## 展開軸

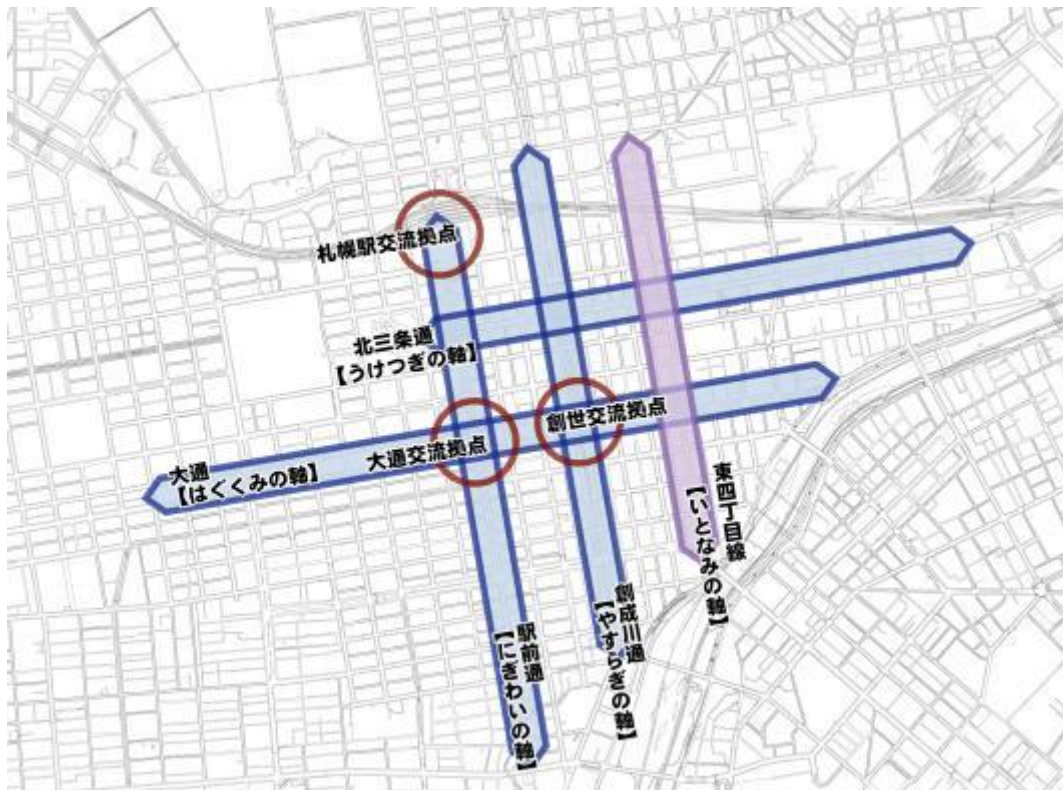
いとなみの軸 (東四丁目線)	〔目標〕 創成川以東地区の回遊・交流を支える、人を中心とした空間の形成
-------------------	--

## 交流拠点

札幌駅 交流拠点	〔目標〕 これまでにない新たな機能の導入や、優れた都市景観の創出による拠点性の向上
-------------	--

大通 交流拠点	〔目標〕 人びとの多様な交流を支援し、都心内の中心性を象徴的に表現する「サッポロ広場」の形成
------------	---

創世 交流拠点	〔目標〕 「はぐくみの軸」「やすらぎの軸」の形成を先導する機能の導入と、都心のまちづくりのモデルとなるような都市空間の形成
------------	--

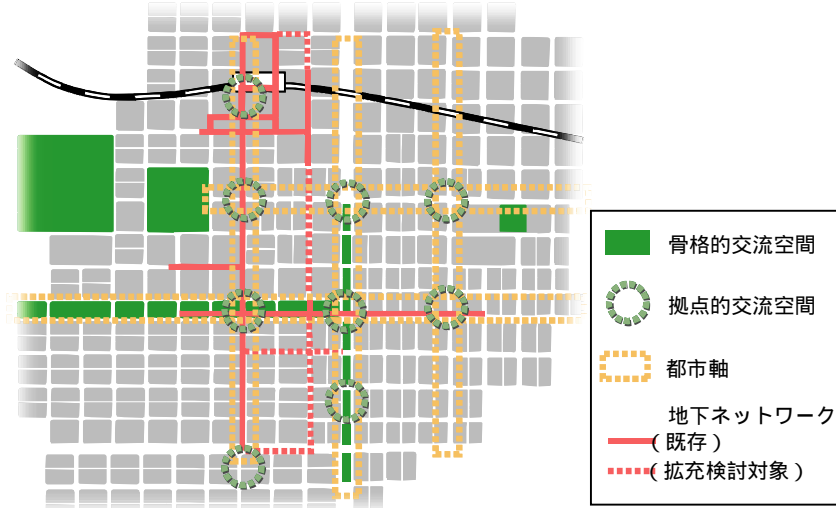


4 (骨格軸) - 1 (展開軸) - 3 (交流拠点) の骨格構造

## (2) 空間形成の力点 : 交流空間のネットワークの形成

大通公園を始めとする象徴性のある「骨格的な交流空間」、市民の多様な活動を支える「拠点的な交流空間」を適正に配置します。

さらに、これらの規模や性質の異なる空間を地上地下の多様性に富んだ街路によってネットワーク化し、新たな回遊、交流を創出します。



交流空間のネットワーク

## (3) 空間形成の力点 : 界わい空間の創出

人を中心とした空間づくりを進めるためには、象徴的な表通りに加え、街区を割る小路の創出など、奥行きのある街並みを形成することが重要です。

このため、民間によるまちづくりへの参画を促し、開発などを通じて、身近な公共空間(「界わい空間」)を創出します。

### 「界わい空間」とは

「界わい性」とは、地元商店街のにぎわいや、生業の活気といった、生活感あふれる雰囲気を感じさせる個性的な街並みの様子を指します。また、一見すると、バラバラな個別の要素が、全体としては合理的にまとまっているような状態にある場が「界わい性のある空間」とされます。

都心のまちづくりにおいては、駅前通や大通など、整然とし、象徴性の高い景観を備えた都市軸の強化を図るとともに、都心を訪れる市民や来街者が、表通りにはない札幌の新たな一面を体感し、個々の関心やまちなか歩きに対する興味を誘発する、日常に近い空間を創出していくことが重要です。

こうした空間を「界わい空間」として位置づけ、官民の協働の取組によって創出していきます。

